

つながり

Vol. 168
(発行/2022.10.1)

がんばる市民活動団体を
紹介します!!

日本画教室

日本画教室は、活動を始めて22年になる団体です。その間、地域とのつながりを大切にして、老人施設での作品展示や絵手紙指導などを行って来られました。新型コロナウイルス感染症の拡大や会員の高齢化で絵手紙指導に行く機会は失われましたが、作品展示は続けておられ、たいへん喜ばれているそうです。

「日本画」とは、明治以後、油絵などの洋画に対してそれまで日本で描かれていた絵画を「日本画」というようになりました。

日本画はその繊細な色合いからあまり色を重ねず、さっさと仕上げたものかと思っていたのですが、実際は何度も色を塗り重ねて仕上げているものだそうです。彩色に至るまでの工程もとても手間がかかります。準備として毎年12月にパネルに和紙を張る作業をします。作品の制作は、モチーフの写生から始まって作品の構成を考え、表面に胡粉(ごふん)を塗ったパネルに下図を転写しその輪郭線を墨でなぞる。その輪郭線の上から下地を塗って、ようやく彩色を始められます。月に2回3時間の活動時間で、1年間に大きな作品1点と小さな作品1点がようやく完成させられるくらいです。1月から描き始めた作品が1点この日完成しました。



日本画を始めたきっかけを皆さんにお伺いしました。すると、油絵をやっていたとか、水彩画を学んでいたとか。どうりで皆さん、写生がお上手なはず。それでどうして日本画を始められたんですか、との質問には、「繊細な色合いが素敵。」「色合いに魅せられました。」と教えてくださいました。絵具は、今では合成のものが多いのですが、もともとは岩石や貝殻を砕いて粒子状にして使っていました。写真の絵具はほんの一部で一口に緑といっても微妙に少しずつ色合いが違いたくさんの種類があります。日本の白の基本である胡粉はカキの貝殻をさらして粉にしたものです。

活動が始まると各々ご自分の作品と向き合います。先生の助言を受けながら少しずつ筆を加える方、次作の構成を相談する方、作品を完成させ、また新たな作品へと挑戦される方。ご自分のペースで筆をすすめて行きます。作品に熱心に取り組む一方、身近な話題に花が咲くこともあり、活動は皆さんにとって貴重な時間となっているようです。日本画教室は、コミュニティセンターやすの他、守山市でも活動しておられます。

問い合わせは、090-7482-2163(森田)まで



令和4年度野洲市市民活動促進補助金 交付団体が決まりました！

今年度の野洲市市民活動促進補助金の交付団体が決まりました！
交付団体を紹介します。

はぐはうす

“学校や幼稚園に行きたくない” そんな子ども達が学校以外に行ける場所として、安心して過ごせる空間・居場所として「はぐはうす」を立ち上げました。子ども達だけでなく、お母さん、お父さん達の悩みや不安を打ち明けられる場、みんなが笑顔になる場を目指している団体です。



野洲ジェンダー平等を考える会

野洲市におけるジェンダー平等社会の進展をめざして行政と市民とのパートナーシップのもとで調査研究や啓発活動を展開している団体です。



ゆにっと作品展 開催しています！

ゆにっと（野洲市就労準備支援事業）で作成された陶芸と、参加者の方に作っていただいた市民サービスセンターを彩る折り紙の数々を鑑賞いただける作品展が開催されています。

日時：～10月13日（木）まで

場所：野洲図書館 本館 ギャラリー

問合せ：野洲市発達支援センター ☎077-587-0033



● 助成金・アワード情報 ●

- 【環境保全】公益財団法人コメリ緑育成財団/第33回コメリ緑資金 助成
応募締切：2022年10月31日（月）当日消印有効
- 【市民活動全般】日本水大賞委員会・国土交通省/第25回「日本水大賞」
応募締切：2022年10月31日（月）当日消印有効

※助成金などに関する内容は直接お問い合わせください。

★助成金の詳細などはホームページにておしらせ中

野洲市 助成金

で！ 🔍 検索

スマートフォンならこちらから⇒



[発行] 野洲市市民サービスセンター
〒520-2492 野洲市西河原 2400 番地
TEL：077-589-6430
FAX：077-589-6438

E-mail：madoguti@city.yasu.lg.jp
野洲市HP「市民活動支援」：
http://www.city.yasu.lg.jp/soshiki/shimin_service/shiminkatsudou/index.html